

How to fix a comb foundation

～巢礎(すそ)の巣枠への固定方法～

巢礎とは？

ミツバチたちに規則正しい六角形の巣穴をつくらせるために、人工的に蜜ロウでハチの巣の形をつくったもので、これを巣枠にはって使います。



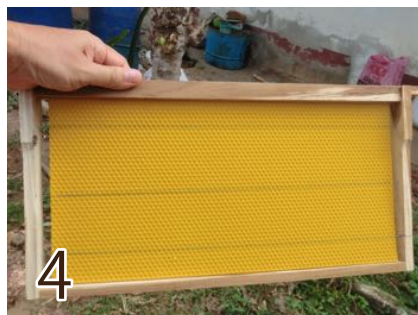
1 巣枠には1本の針金が3分割で通される。



2 蜜ロウでできた六角形の凹凸を印圧した薄い板状のシートをのせる。その六角形の数、両面合わせて約6,000個。



3 針金の両端に電気を通すことで、ロウが溶けて針金に固定される。日本では、針金の上をなぞる電気ローラーという道具が使われている。



4 通電すると一瞬で巢礎が針金に固定され、巣枠の準備が完了。巣分けの際には、新しい巣枠をたくさん使う。



5 手前が固定されたばかりの新しい巢礎で、奥側はミツバチが六角形の凹凸に合わせて部屋をつくったもの。



6 ミツバチが巣房を作り始めたところ。



7 巣房の中に透けて見えるYの模様は、裏側の六角形。表裏の巣房が互い違いにできていて強度を増している。